

人工透析室は、看護長・透析技師認定師 1 名・臨床工学士 1 名・看護助手 1 名を含め総勢11名のスタッフがチームワークを発揮して、透析看護を実践しています。



私達は、安全に透析が行えるよう透析室に入室してから退室するまでの患者様の観察や透析中に安楽に過ごせるように、個々に応じた援助を行っています。何より患者様が在宅でいきいきとした生活が送れ、通院透析が継続できるように、生活指導・透析中に独自で作成した動画を見ながら行う運動療法・皮膚排泄認定看護師および愛媛糖尿病療法指導士の指導のもとフットケア・里帰り透析の患者様の受け入れを行っています。

また、災害発生時にも透析が続けて受けられるよう、患者カードの作成や他病院・他施設とのネットワーク作りなど災害時の対策にも取り組んでいます。

手術室は、手術室4室（クリーンルームを含めて）・
スタッフ5名(看護長・次席・スタッフ3名)で構成されてい
ます。

年間350件の手術を行っています。

高齢化率が高い地域の特性により、主に眼科の白内障・
整形外科の骨折の手術を行っています。



手術は患者様にとって日常生活から
一転する出来事であり、大きな不安を抱え
ています。

私たちは、手術を受ける患者様の安全を
守るために、手術前訪問を通して患者様と
向き合い・情報交換を行いながら不安の軽
減に努めています。手術前に得た情報は、
スタッフ間で術前カンファレンスを行い、個別
性のある看護を実践しています。

また、手術室看護師としての専門性を獲
得する為に、手術室への勤務異動者に対
しては、教育係としての先輩看護師が、一
人一人に合わせた指導を行っています。

スタッフ一丸となって、笑顔で患者様をお
迎えし、言葉かける事に心がけています。